

長岡京市環境の都づくり会議 10 周年メッセージ集

来賓からのメッセージ



- 環境の都づくり会議設立十周年
経過をさらに継続希望 市木 哲夫 (2)
- 次の 10 年へ“環境の都”長岡京の実現を目指して
猿渡 幸男 (2)
- つむがれた緑の絆を！ 大日 美紀子 (2)
- 出来ることから始めよう・ 智恵と心の交流を
片山 洋子 (2)
- 10 周年に寄せて 金澤 良彦 (3)
- 活動を楽しんで 木原 浩貴 (3)
- ミヤコちゃんの思い 田邊 八千代 (3)
- 楽しくイベント開催 西本 雅則 (4)
- 地域みんなで環境活動 秦 陽子 (4)
- 10 周年を祝って 藤下 光伸 (4)
- ステキな『長岡京竹あそび』 古澤 登美代 (4)

- 「ゆりかご保育園」から 高橋 由紀子 (9)
- 放置竹林の整備にロマン 田口 功 (9)
- 私の 5 年間 田原 誠一郎 (9)
- ハイキングと竹林整備 土本 敬保 (9)
- 作業は楽しく 永井 征 (9)
- みんなの知恵と行動で 中田 利享 (10)
- 「もったいない」の長岡京市に 西村 厚子 (10)
- 竹によせて 西村 孟雄 (10)
- 環境教育ミーティング 10 年を振り返る
西村 日出男 (10)
- 気楽にボランティア 野口 信行 (11)
- ビオトープ PJT に参加して 浜田 保 (11)
- 環境教育を時代を映す鏡と捉えて
平岡 信之 (11)
- 竹林作業で若さと体力づくり 藤井 伸男 (12)
- 「竹林再生」諸々雑感 前田 大翔 (12)
- ボランティアで才能開花 松田 博 (12)
- 竹林整備でメタボ解消 丸本 茂徳 (12)
- 長岡京市環境の都づくり会議入会のきっかけ
三上 仁美 (12)

会員からのメッセージ

- 地域に何か貢献したい 赤井 望 (5)
- 竹筒のソーラー街灯 石田 次郎 (5)
- 楽しければ元気になる 磯永 康造 (5)
- 竹林整備でミニバレー 梅染 毅 (5)
- ボランティア活動で友人づくり 江頭 喜一 (5)
- 緑（環境）との縁と絆 江川 宗治 (6)
- 今こそ恩返し 奥西 弘武 (6)
- 初めてのボランティア 小倉 久蔵 (6)
- 繰返す自然の驚異 小根田 勝信 (6)
- はじまりのとき 加藤 克巳 (7)
- 地道な社会貢献 北田 晃一 (7)
- 太陽光発電あれこれ 木村 禎志 (7)
- 10 周年記念誌発刊によせて 草場 克彦 (7)
- 竹林再生で登山のトレーニング 熊谷 完治 (8)
- 継続は力なり 神山 忠 (8)
- 環境にやさしい保育園 高橋 一女 (8)
- リハビリ後環境の都に復帰 高橋 實 (9)

- 竹林整備で流す汗 村上 三郎 (13)
- 環境の都ニュースを振り返る 山本 雅夫 (13)
- 環境教育ミーティングは夜間大学
山本 美津子 (13)
- モラロジーに生かされて 湯川 圭造 (13)
- 10 年を振り返って 湯川 智子 (14)
- 西山にかける想い 渡辺 節郎 (14)

事務局からのメッセージ

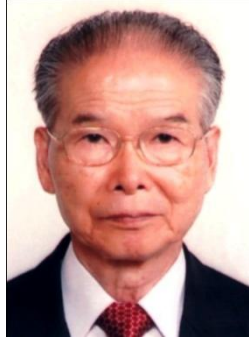
- 西山が新たなムーブメントに！ 中村 修 (15)
- 未来を創る技術 木本 直樹 (15)
- 継続的な取り組みが着実に市民へ
北川 あかり (16)
- Think Globally, Act Locally. 長沼 美菜 (16)

来賓からのメッセージ

環境の都づくり会議設立十周年

経過をさらに継続希望 市木哲夫

私は平成 11 年度からの当会議の前進である「長岡京市民会議」に一市民として参加していました。その後、平成 14 年に当会議が設立されたのを機に当会議に入会しました。



私はサラリーマンとしての会社人間で定年退職。以後、地域であり規則や時間に制約されず、そして興味のもてそうな会がないかと手前勝手なことを思っていました。そこに前述の会議に知人に誘われて入会した次第です。会議では私は「歩いてまち再発見」のチームに所属し、関心のある人たちと歴史あるふるさと再発見行事に参加していました。

一方、他の分野の興味ある行事にも参加。ところが入会二年頃から歩行困難で入院手術し、退院後も支障ありで残念ながら退会しました。しかし現在でもフォーラムや教育ミーティングには出席し、環境の都ニュースや環境ミーティングは読ませてもらっています。その間、関連行政や会議メンバーとの出会いや交流が私の大きな人間形成上の財産となっています。(元メンバー)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

次の10年へ“環境の都”長岡京の実現を目指して

猿渡幸男

長岡京市環境の都づくり会議設立 10 周年、誠におめでとうございます。

長岡京市環境基本計画に掲げた様々な取り組みにチャレンジしようと、市民の手による新しい環境のまちづくりが始まりました。あれから 10 年、名実ともに長岡京市における環境の取り組みを進める先導的役割を担っていただいています。その活動の内容も幅広く、多彩な人材と地に足の付いた着実な活動を通して、他の団体の模範となっています。



そのことが評価され昨年 12 月の長岡京市環境フェアにおいて、長岡京市“環境の都”賞が授与され

ました。

自らの団体の活動に留まることなく他の団体とも連携、共同して長岡京市のよりよい環境づくりに貢献されていることに深く敬意を表します。

これからも水と緑に恵まれ、歴史と文化の薫り漂う“環境の都”長岡京の実現を目指して、行政の良きパートナーとして、次の 10 年を目指し更に発展されますことを大いに期待いたします。(環境政策監)

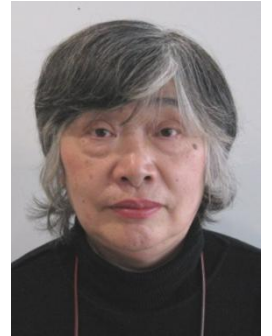
◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

つむがれた緑の絆を！

大日美紀子

『つむぎ織りなす“環境の都”長岡京』なんて素適な言葉でしょう。

環境の都づくり会議が始まった当初、参加者から提案されたと聞いています。



環境問題に多いに興味のある人が集まって共通認識をもつため、立派な先生方の講義をきいていた頃、本当にこんな難しい事や大変なことがボランティアの私達に出来るのかと不安になったものです。それでも、さて自分達の町で自分達に出来ることをと、少しずついくつものグループに分かれ活動は活発に、そして 10 年も続いてきたのですから、本当に素敵につむぎ織りなされてきたということです。

私自身は、同時進行の他の市民団体に重点を置くため、途中で抜けさせてもらいましたが、今も「環境の都づくり会議」は私達の町の一番の自慢の市民活動だと思っています。

これからも益々楽しく多いに頑張ってください。また参加できることを楽しみにしています。

(市民活動サポートセンター元事務局長)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

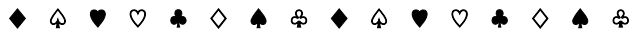
出来ることから始めよう・智恵と心の交流を

片山洋子

祝 10 周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。平素は何かとお世話になっていると言うよりなれる関係が保持できていることに喜びを感じています。特に“環境”という大きいテーマを軌に「つむぎ織り



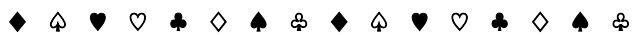
なす「環境の都」長岡京」を構築していく一員として、長岡京市生活学校が一助となればと常に考えています。又、一団体だけでなく、行政や他団体、企業とコラボしていくことによって、地域力強化、地域力の活性になるかと考えます。幸いにも「長岡京竹あそび連絡協議会」が環境にこだわる団体の組織なので「環境の都」さんを中心に益々発展し、協働発信していく事を信じてやみません。子供達の未来の為に頑張っていきたいと念じております。「環境の都」さんの益々の御発展を祈念いたしております。
(長岡京市生活学校)



10周年に寄せて

金澤良彦

貴会議発足 10 周年、おめでとうございます。私は第 58 回「環境教育ミーティング」(11,11,8)で「日本縦断徒歩の旅」の講演をさせていただきました。この旅は鹿児島から宗谷岬まで徒歩で縦断し、全国各地でごみ減量や、家庭の省エネを訴えるものでした。また、予ねてより貴会の活動については色々な場を通じて情報を得ていました。市・団体・事業者・市民が協働しながら、実にバラエティーに富んだ活動をされていて、常々敬服の念をもって見聞きしております。京都議定書が採択された 1997 年の 5 年後、貴会議が産声を上げました。その後着実に発展し続け、数々の実績を挙げてこられました。一昨年は京都 ECO ワングランプリで見事グランプリを獲得、更に全国大会でも優秀な成績を収められました。新しい事に情熱を持ってチャレンジ、将来にきれいな地球を手渡して行きたいとの情熱をひしひしと感じています。私も宇治市のパートナーシップ会議、e c o t t 宇治のメンバーとして、貴会議のバイタリティーに刺激を受けつつ今後も共に頑張りたいと思います。
(省エネルギーセンター 省エネ普及指導員)



活動を楽しんで

木原浩貴

活動開始から 10 周年を迎えられましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

私自身、おひさま発電所づくりや環境教育といった皆様の活動に関わらせていただく中で、大変多くの貴重な体験をさせていただきました。そんな中で印象的だったのは、皆様が活動を楽しんでいらしかったこと。もちろん、扱うテーマは大きく、活動の成果がすぐにあらわれることばかりではなく、活動そのものがしんどいことも多々あったろうと推察いたしますが、それでも前向きに取り組まれた。これこそが、10 年という長きにわたり、多くの方々を巻き込んで活動を続けてこられた秘訣なのではと感じています。



東日本大震災を受け、エネルギーの需給構造や私たちの暮らしそのものが大きな変革を求められています。そんな今だからこそ、都づくり会議らしさを失わず、今後も活動を継続していただきたく存じます。今後ともよろしくお願いたします。

(京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長)



ミヤコちゃんの思い

田邊八千代

「長岡京市環境の都づくり会議」10 周年おめでとうございます。

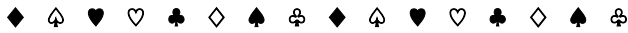
皆さま方のご尽力で、ここまで「環境の都」長岡京が成長して来られたことを心より御礼申し上げます。さて 10 年目にあたる平成 23 年度は、地震



や豪雨、豪雪などの自然災害が多く、地域での助け合いやボランティア活動などの必要性とあり方が見直された年となりました。本市では、大きな被害こそありませんでしたが、やはり「地域のつながり」を求める機運が高まっているように感じます。そのような中、10 月に開催された「長岡京 竹あそび」では、環境の都づくり会議をはじめ 39 もの市民活動団体がともにイベントを作り上げられました。その反響はすばらしいものでしたが、さらに団体同士のつながりが深まったことも大きかったのではないかと思います。このような取り組みをぜひ広げてください、また次の 10 年が飛躍の年となりますよう、お

祈り申し上げます。

(長岡京市環境政策監計画調整担当)



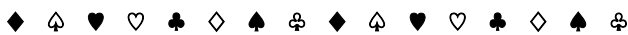
楽しくイベント開催

西本雅則



設立10周年お祝い申し上げます。都づくり会議が設立される過程に参加させていただき、毎回、夜遅くまで公民館や市役所の会議室で長岡京市のみなさんとワークショップを行いました。そして多くの方々と出会えたことが私の財産になっています。この10年間で、全国的に地球温暖化防止や里山整備などに、広く市民の理解と参加が得られる社会になってきました。その中でも都づくり会議は、全国に先駆けて市民・NPO・企業・行政との協働を進めてこられました。その結果として、小学校で開催される環境学習プログラムや、地域を巻き込んでの省エネ活動への表彰など、多くの成果が生み出されたことを一会員として嬉しく思います。自然エネルギーの普及やバイオマス資源の活用など、ますます活躍の機会が増えそうな社会になってきました。これからも、一緒にイベント開催などが出来る事を楽しみにしております。

(特定非営利活動法人きょうとNPOセンター職員)



地域みんなで環境活動

秦陽子



女性の会は、平成20年度から環境学習に熱心に取り組み、家庭の省エネやごみの減量、フードマイレージなど地球温暖化防止につながる実践活動を推進して参りました。地域に向けた活動としては、市内の小、中学校に毎年、ゴーヤーの苗を配り、グリーンカーテンづくりを通して、子どもたちに環境問題を考えて貰う機会を提供しています。22年度には、福知山環境会議の方と連携し、神足小学校と長法寺小学校で、サーモグラフィーの実験やゴーヤ紙芝居、ゴーヤダンスで、子供たちと楽しく環境学習を行いました。これからもすすく教室などで、私たちが学んだことを子供たちに伝

えていきます。

昨年、東日本大震災の原発事故で、エネルギー問題が大きな課題となる中、私たち一人ひとりが生活の無駄をなくし、節電、節水、リサイクルなどに取り組み、次の世代にできるだけ良い地球環境を引き継いでいきたいと思っております。(長岡京市女性の会)



10周年を祝って

藤下光伸



設立10周年おめでとうございます。

平成20年4月に当市は“環境の都”「長岡京市環境都市宣言」を行いました。

名は体を表すと申しますが、これより10年も前から

「環境の都づくり」を目指したメンバーの方々による今日までの取組みに、改めて敬意を表します。

各プロジェクトチームによる様々な活動は、市民や各団体・行政との「協働」そのものであり、環境問題に対する市民の意識の向上に大きな影響を与えました。

長岡京市は、西山をはじめ水と緑に恵まれた自然豊かなまちです。私達の責務として、次の世代にこの環境をよりよい形で残さなければなりません。

“環境の都”長岡京市の実現に向け、皆様方の益々のご活躍を期待いたします。

(環境政策監環境コーディネーター)

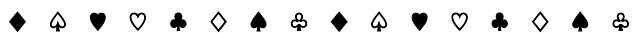


ステキな『長岡京竹あそび』

古澤登美代

10周年おめでとうございます！長岡京市は、市民活動が活発なことでは府下随一で、誇れるまちですが、その中でも環境の都づくり会議は、江川代表を筆頭に穏やかでかつ元気な“このまち大好き人”が多く、多彩な活動は素晴らしいと思っております。過去3回行った『長岡京竹あそび』は、多くの市民団体、大学、企業、行政が協働で行いましたが、環境の都づくり会議のメンバーは連絡協議会の中心的役割を担っていただき、なくてはならない存在です。放置竹林整備で出る竹で1000本の竹筒を作り、巨大な竹ツリーや竹チップの道を作って竹あそびの会場を盛

り上げつつ、環境問題をアピールすることも忘れません。今年10月13日（土）開催を決めました。多くの団体と協働で、長岡京らしいステキな環境イベントになるよう盛り上げていこうと思います。環境の都づくりのみなさん、今年もどうぞよろしくお願ひします。（長岡京竹あそび連絡協議会事務局）



会員からのメッセージ

地域に何か貢献したい

赤井 望

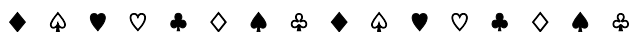
私は、この1月に長岡京市環境の都づくり会議に入会しました。これまで自分の気の付く範囲で、例えば、エアコンの温度設定やシャワーの時間など、環境には気を遣っていました。



そんな中、私の住んでいる長岡京市で環境に対する取り組みが熱心に行われていることを知りました。より多くの事を学び、実践出来るのではないかと思います。この会に参加することを決めました。

私は、エコチームに所属しています。ペットボトルのリサイクルやレジ袋の有料化など、ここ数年の間に目に見える形で様々な取り組みが行われるようになりました。一人にできることは限られていますが、多くの方が同じ取り組みをすれば、大きな成果につながります。一人でも多くの方に、少しでも環境の問題に意識を向けてもらえるよう、環境の都づくり会議を通じて取り組んで行きたいと思っています。

(エコチーム)



竹筒のソーラー街灯

石田次郎

私はエコチームで竹筒のソーラー街灯を作りました。エコチームの会議で市販のソーラー街灯を分解してその仕組みを調べました。長岡京市内の技術関係の方に聞いたり、エコチームのメンバーがインターネットで調べられ



た回路図を参考にして試作しました。長く点灯させるためにLEDを早い周期で点滅させたもの、照度センサーをつけたものなどをエコチームの会議で検討しました。結果はLEDを点滅させないで、太陽電池の電圧によってソーラー街灯の点滅ができるものに決まりました。他のチームから竹筒をもらってそれにソーラー街灯を組み込みました。そして竹筒2本に竜とフクロウの絵を描いていただきました。ソーラー街灯を使いながら改良して行きたいと思ひます。エコチームの活動で私の趣味（電子工作）を活用でき喜んでひます。

(エコチーム)



楽しければ元気になる

磯永康造



ボランティアはしんどいだけで続かない。

楽しくやろう。けれど楽しくやれば元気もらえる。

(竹林・花PJT)

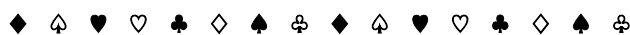


竹林整備でミニバレー

梅染 毅

足腰鍛えてくれた竹林整備、今もミニバレーで頑張っています。西山体育館の2階の庭園の花の水やりを朝、夕方2回しております。

(竹林・ビオ・花PJT)



ボランティア活動で友人づくり

江頭喜一

ボランティア活動で友達が増えたよ。後のカラオケが楽しみです。

(竹林・ビオ・花PJT)



緑（環境）との縁と絆

江川 宗治

仕事の関係で約 18 年間長岡京を離れていましたが、定年になり昔の家に戻って来た時、

「環境の都づくり会議」の結成を準備していた市の担当部署が主催する“ふるさと再発見まち歩き”のちらし（新聞等の案内だったかも？）が眼にはいり、2001 年 7 月の終わり頃に行われた奥海印寺地区の「まち歩き」に参加したのが当会に参加するきっかけでした。

当初はエコチームのメンバーとして、地域通貨を導入して町おこしに取り組んでいる話を聞いたり、エコストアの導入検討などをしていました。その後、市民共同おひさま発電所に重点的に取り組むことになり、2004 年 3 月にゆりかご保育園への 1 号機導入、2008 年 1 月には海印寺保育園への 2 号機導入が実現できました。

その後、当会の他のプロジェクトにも関わりが出来、大勢の仲間と縁で繋がり、環境の輪が広がっていくのを楽しんでいます。

（長岡京市環境の都づくり会議代表）

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣



今こそ思返し

奥西弘武

「僕は技術者になってこの村に産業を興すのだ！」丹波の山村で物づくりに憧れる子がいた。

やがて飛び込んだ社会は高度経済成長期の真っ只中。「作れ作れ」と背を押され、商品を開発して地方の工場生産を立ち上げるという憧れの仕事を転々と繰り返すうちに定年を迎えた。

十分満足したが、我が故郷には何も残せなかった。・・・いや残さなくてよかったのかな？

工場が生じた瓦礫、廃液の山を目前にしたときの、喉もとに刃を突きつけられた思いが今も残る。

昔、親父は「川の水は 3 メートル流れると浄化される」と言った。そんな川にしたい想いを抱きながら西山の竹藪に入り、また花や野菜を相手に土いじ



りも始めた。自然が持つ回復力の偉大さを守りたい。

玩具作りで子供たちに科学への関心を誘うことも楽しみである。環境の都はそれが出来る私の居場所。

（ピオ・竹林・エコ・花 PJT）

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

初めてのボランティア

小倉久蔵

ボランティアは初めてで何時まで出来るか分かりませんが挑戦して行きたいと思いません。



（竹林 PJT）

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣



繰返す自然の驚異

小根田勝信

今年程（2011 年）自然災害の大きさに驚いた年は今までありませんでした。日本だけでなく世界的にも大災害に見まわれ大変な年でした。日本では 3 月の東日本大震災と津波

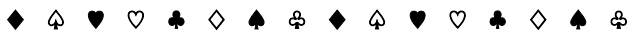


で被災され、今なを、厳しい生活をされている多くの方々を思いますと心が痛みます。日本のみならず世界中からの応援、支援、救助により人と人との絆を大切にしながら自ら勇気を前進をされているお姿を TV や新聞等で拝見するたびに自身の今の環境がありたく思う感謝の気持ちが足りないと思反省しています。私も環境にたずさわって 10 年近くになりますが、何が出来、何が出来ていなかったかを、今回の自然災害で、もみ消しにされた感じがします。人間の力の無さをつくづく思いさらされた年でした。ここで一つ分かったことは、このような災害が過去にもたびたび起こっていたことや、その体験を村の生活に活かし続けてきた村だけが生き残った事実です。

1000 年に一度はやってくる災害の現実を昔の事だと無視せずに子供達や孫達に伝えて行くことが、今、生きている私達大人の仕事ではないのでしょうか。教える、伝える、指導する、体験させてやる、ピオトープ PJT で子供達を相手にして自然の中で校外授業を実施してきたことは、大変有意義なことであっ

たと再確認しました。これからも健康に注意し、子供達と一緒に遊んで行きたいと思います。

(ビオ・竹林・花PJT)



はじまりのとき

加藤克巳

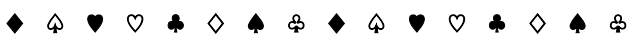
環境基本計画策定に2年間、その後、環境の都づくり会議が結成され、実施活動に11年間、合計13年間活動を続けてきたことは評価されると思います。西山の里山整備、森林整備活動も2005年6月に産、官、学、市民からなる西山森林整備推進協議会が発足し、進展がみられました。



環境の問題はこの13年間、常に最重要課題でありましたが選挙の票にはならないといわれ地方の政治課題や家庭の実践活動として根を張るまでには至っていないというのが現状だったのではないのでしょうか。しかしながら昨年(2011年)ほど、自然、人間、科学、エネルギー、環境などの関係を問い直された年はありません。省エネの実施行動がこれほど、家庭にまで入ってきたのは1973年、1979年のオイルショック以来のことです。震災で失ったものはあまりにも大きく、何十年も修復にかかるかも知れません。人が造ったもの、人が生み出したものは人に責任があります。

今まで来た道を考え抜いて、学び取って、今からまた、環境問題を若い人も一緒に関わり続ける「はじまりのとき」になります。

(里山再生)



地道な社会貢献



地道な活動ではあるけれど社会貢献につながれば良しとする。

(竹林・花PJT)



北田晃一



太陽光発電あれこれ

木村禎志

当会議に参加して9年と少しになります。小泉側の源流を探る企画がきっかけで、川を浄化する為の竹炭焼きをはじめというグループに加わりました。

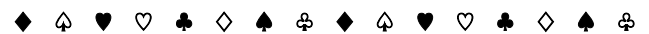


その後、太陽光発電設置を希望する福祉法人に国から工事費を女性する制度が始まったので、法人を募って応援しようとの企画がもちあがり、請われてそちらに移りました。京都府のアドバイザー助成制度で、きょうとグリーンファンドの大西女史のアドバイスを受けながら、長岡京市内の幼稚園や保育園等に呼びかけましたが応募がなく、応募期限の最終日に村上氏と最後に訪れたゆりかご保育園が私たちを待っておられて応募されました。その後、裏方で責任重大な会計は田原氏が担当して、紆余曲折を経て平成16年3月に太陽光発電所第1号の点灯式に漕ぎつくことができました。

翌年以降も村上氏と二人で(途中から石田氏が参加)で募集を続け、平成20年1月に海印寺保育園に第号発電所が完成しました。非常に残念なことに、その村上氏が今年の正月に急逝されました。省エネと太陽光発電に情熱を燃やした同氏なしには長岡京の太陽光発電は語れません。

また、当会議の他のプロジェクトチームの応援や協力がなければ発電所の完成にまで辿り着けなかったことでしょう。

(エコチーム)



10周年記念誌発刊によせて

草場克彦

環境の都づくり会議発足10周年おめでとうございます。私は主に「環境の都ニュース」の発行のお手伝いをさせていただきましたが、楽しかったことは、編集に際し原稿が集まらない時に拙文を掲載して頂いたことです。とりわけ28号、32号、34号、44号表紙下欄のコラムと5周年記念号の寄せ書きはいま読み返しても思わず胸が熱くなります。

28号の電気掃除機のわずかな部品が破損したために掃除機すべてを廃棄せねばならなかったこと、32号のメジロとウグイスは今年になって野鳥の数が急激に減少したこと、34号の電線については長岡京市

でもJR駅前などにおいてその後地下化が実施されつつあること、44号の映画「おくりびと」が掲載後アカデミー賞を受賞したこと等ですが、小泉川への思い入れを書きました記念号のコラムについては今の付近の現状をみるにつけ残念でなりません。

しかしこのような意見発表の場を設けてくださいました江川代表はじめ会員、長岡京市環境政策課の方々には大変感謝いたします。

今夜も凍てつく夜空にオリオン星座がまたたいています。太古の人々も見た全く同じ夜空と子々孫々われわれ人類の未来永劫に至るまでこのかけがいのない地球を守るため「長岡京市環境の都づくり会議」の発展をお祈りいたします。(里山再生)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

竹林再生で登山のトレーニング

熊谷完治

AC(日本公共広告機構)に関わっていた関係で、定年後は自分スタイルのボランティアを通じて社会や地域と繋がりを持ちたく願っていました。趣味の登山で聴覚障害者の手助けになればと「手話」の勉強



強を始めましたが京都には、障害者と健常者が共に登山する「しろうまの会」のような会は無く、4ヶ月でやむなく断念しました。

そんな時、竹林再生の誘いを受けました。足場の悪い場所や急な登りの山腹での作業は、登山の良いトレーニングにもなり、又 間伐の竹もレンタル農園での杭や棚作り等に使用出来、古くなれば、強い火力を活かして収穫後の茎、蔓や根っこを燃やし、草木灰として利用しています。

特技を持った仲間にも恵まれ、しかも健康にもプラスですので、気負い無く、楽しく活動を続けたく思います。(ビオ・花・竹林PJT)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

継続は力なり

神山 忠

平成15年に本会に参加させて頂き、9年が経ちました。

“続ける”と言う事はネットワークの広がりや自信の深まりに繋がり、知らぬ間に己を成長させてくれ

ます。

又、個人的な趣味の世界が何時の間にか組織の活動を意識するようになり活動への責任感も芽生えてくるものです。

そして、僅かなことでも周囲に教えられるものを習得すると、

喜びと更なる向学心も湧いてきて、“更に続ける”ことと“もっと上を目指す”気力を与えてくれます。会社という枠を出て、ボランティア活動を通して今まで全く違った世界を歩んでこられた方々に接し、自分には無い知識や経験、ノウハウを持った個性ある方々がいかに多いか、又 その方々に素直に学び、皆の力を借りてやれば新しい世界が広がり、自信も深まることを体験しました。

何も特技の無い自分でも周りから見れば何か他人には無いものを持っているようで、何かと頼りにされ、おだてられてやっているうちにその気になって今日に至っています。

今後も長岡京市環境基本計画の実践部隊という立場を意識し、少しでもそれに相応した活動が出来るよう、汗を流し、組織の輪を広げる事への努力を重ねようと思います。(ビオ・竹林・花PJT)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

環境にやさしい保育園

高橋 一女

長岡京市環境の都作り会議 10周年おめでとうございます。私は、環境の都作り会議と共同で設置に取り組んだ「ゆりかご保育園」で保育補助として働いています。園では、「環境にやさしい保育園」を目指して、ゴーヤーのグリーンカーテンや、生ゴミの堆肥化・雨水タンクを設置して雨水の有効活用などに取り組んでいます。個人としては、家庭や事業所から出される古紙や廃食用油のリサイクル活動に取り組んでいます。長岡京市内外の家庭や事業所の皆様にご協力頂き、多くの資源を焼却に回さずに再生処理しています。

私自身、性同一性障害という個性を持っていて、平成21年に法律に基づいて戸籍上の性別を変更しました。継続的に治療が必要な状態で、副作用などもあり、都作り会議の行事には、ミーティングと環



境フェスティバルに協力させて頂く程度の参加になってしまっています。参加の確約はなかなかできないあまりあてにならない形にはなると思いますが、できるところからエコに取り組んで行きたいと思っています。よろしくお願いします。(エコチーム)



リハビリ後環境の都に復帰

高橋 實

原因不明の腰痛で入院中、共に働けない寂しさを、秘めながらリハビリに励んでいます、回復したら又仲間に入れて下さい。早く元気になった姿を見て欲しいです。



(ビオ・竹林PJT)



「ゆりかご保育園」から

長岡京市環境の都づくり会議10周年おめでとうございます。ゆりかご保育園と環境の都作り会議との共同で設置したソーラーパネルも、本年3月で満8周年を迎えます。これまで48,085k Wの電力を生み出しています。これからも、地球にも子どもたちにもやさしい保育園を目指して取り組んで行きたいと思っております。

高橋由紀子



(エコチーム)



放置竹林の整備にロマン

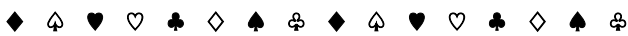
田口 功

色々な経験を持つ仲間達が一つの環になって放置竹林の整備と云う大きな目標に向かって活動することに敬服とロ



(竹林PJT)

マンを感じます。



私の5年間

田原誠一郎



地球温暖化防止や省エネなど環境問題に対する市民の関心はずいぶん高まりました。私のボランティア活動も、最初は「ボチボチ」やっていたのが、環境の都づくり会議のメンバーと一緒に活動することで大きく拡大しました。

小学校の総合学習の時間に、環境に関する勉強や実験、体験をテーマにして、環境学習の授業を行いました。放課後子ども教室「すくすく教室」では市内の全小学校で「環境科学あそび」と称して、科学の実験を行いながら環境問題を楽しく学ぶ(遊ぶ)機会をたくさん作りました。小学生は科学の実験が大好きで、生き生きと目を輝かせて実験します。環境や科学に興味を持ってくれる児童が増えたのは本当にうれしいことです。

たくさんの方々との絆もできました。「環境科学あそび」を応援していただいた方、行政やいろいろな団体の方には多くの市民の方とお話しできる機会を作っていただきました。本当にやりがいのあった5年間でした。

(エコチーム)



ハイキングと竹林整備

土本敬保

後期高齢者ですがハイキングで鍛えた足腰できつい竹林整備が出来る事の喜びを噛み締めて、皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。



(竹林・ビオPJT)



作業は楽しく

永井 征

ボランティアも大変な作業ですが、楽しく皆さんと助け合って頑張っていきたいと思いま



(竹林・ビオPJT)



みんなの知恵と行動で

中田利享



竹やぶに囲まれて住まいすること40年。自然の環境に恵まれた長岡京の西乙訓地区で春からは鶯の鳴き声で目を覚まし上達を耳にしつつ楽しく過ごさせて貰っています。

縁があって「環境の都づくり会議」のメンバーとなり7年目、エコチームで活動しています。活動を通じて市役所や地元の企業の皆さんと市民の方々とまた学生・児童の皆さんとさらには保育園・幼稚園の子どもさんたちと出会うことが出来ました。エコについて、省エネ・省資源についてさらにはリサイクルについて学び気づき出来ることから実行していけたらと思っています。先ずはお金のかからない知恵と工夫で自分たちにできることを選んでやってみることにしましょう。原発を使わなくて済むように更に電力を使わないでも快適な生活が出来るようにしたいものです。40年後には今使っているエネルギーの1/5~1/20でより快適で幸せな生活が出来るようチャレンジし、引き継いでいきたいですね。(エコチーム)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

「もったいない」の長岡京市に

西村厚子



長岡京市に住み続けたいと思っている人は約9割、その主な理由の一つが緑豊かな環境を挙げられています。この会議に7年前仲間入りさせていただいて、まずは主婦の自分ができる環境運動との思いで「使用済みてんぷら油」の回収運動を始めました。今ではいつとはなしに、家のガレージにペットボトルやコーヒーの空き瓶に入れられておいてくださる方が増えてきました。使用済みてんぷら油をバイオディーゼルに再利用し車を走らし、CO2削減に少しでも貢献するこの運動が広がることをこれからも期待しつつ、続けていきたいと思っています。東日本大震災をきっかけに生活の価値観が変わる兆しを感じます。「もったいない」の心でお互いの人間関係も、もの

も大切にすることが環境運動の第一歩だとの思いで、これからも環境の都会議の各分野の活動の継続と発展を期待します。(環境教育)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

竹によせて

西村孟雄



「竹」のイメージは、まず優雅な竹物語を思い浮かべるだろう。しかし良く考えてみれば、これほど我々の生活に深く根ざしている物も少くない。昔ながらの竹細工おもちゃ、料理の器にお箸、花活の器、灯りのセードや生垣、物差し、楽器では、尺八、それに竹炭、竹炭酢等竹は貴重であり奥深い。“ことに孟宗竹の料理はことさらに美味しい。”1年中ほぼ毎月3~4度、竹林に入り、竹のご機嫌伺いをしています。

私は今年で4年目を迎えました。高年齢ではあるが、まだまだ若輩者である。今では、竹林再生部会が私の行動の一番手である。おかげで友人達には付き合いが悪くなったとぼやかれている。それでもまあ仕方がないか……が、無論、楽しいだけではない。真夏や足場の悪い急な坂道を道具を持って竹林の上り下りは大変危険も伴う。

又、他の行事で市役所、JR長岡京駅前でエコクール作戦水撒きと柄杓作り、七夕の笹採集、竹遊び会場設営と竹灯りポットやエコローソク作り、中央公民館、西山公園体育館、JR長岡京駅前の花咲かそう運動や公園整備等、さまざまな仕事に取り組んでいる。おかげで頭も身体も健康でいられるのかもしれない。

西山山麓にある、海印寺寂照院境内に「日本の孟宗竹発祥の地」の碑があるが、忘れてはならない竹がある。エジソンが電球のフィラメントに八幡男山の孟宗竹を使い“炭素発熱電球”の実用化に大きな役目を果たしたことだ。「なんで長岡京の竹、使ってくれなかったのかいな……。」

(竹林・ビオ・花PJT)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

環境教育ミーティング10年を振り返る

西村日出男

2001年8月18日に行われた井ノ内の「まち歩き」に参加したのを契機に、「環境の都づくり会議」事務

局会議に出席しました。プロジェクト立ち上げを要請され、環境や環境活動に関する意見交換の場を企画・運営することにしました。「滝ノ町ふれあい文化サロン」の経験から、費用無の運営を決め、名称を「環境教育ミーティング」とし、隔月開催にしました。参加者の感想を中心とした報告書も作成することにし、名称を MEET (Miyako Environmental Education Times) としました。知人に話題提供を依頼し、多くの方が快く引受けて下さった。感謝しています。



2002年5月25日の第1回は市役所横の市民活動サポートセンターで開催しました。間もなく中央公民館から共催の申し出があったので、以後の会場は中央公民館を使わせて頂いています。有難い。当日の会場設営、司会進行、MEET 発行も私の役割です。一度も休まず、間もなく60回を迎えます。環境意識の啓発の一翼を担ってきたと自負しています。

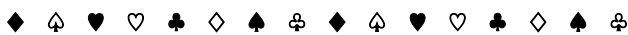
(環境教育)



気楽にボランティア

野口 信行

自営業のかたわら、ボランティアに参加していますが同じ働くことでも気が楽で息抜きになり楽しいです。自営業のかたわら、ボランティアに参加していますが同じ働く事でも商売と違い気が楽で、息抜きにもなる、又なによりも仲間との触れ合いが素晴らしい。(竹林 PJT)



ビオトープPJTに参加して

浜田 保

ビオトープのグループに参加して、一体何をやるのだろうと当初は思っていました。月日が過ぎ、回が重なるにつれ少しづつではあるが身に付き、今ではやっと皆さんのお手伝い出来るようになった。



仕事の都合で毎回参加出来ませんが一方では六小の中庭にあるビオトープで蛍を育ててみようとして手探りながら取り組んでいます。現状ではカワニナ、メダカ、ドジョウ、等が生息していて、環境作りに取り組んでいます。今は蛍が住み易い様に草むらや、土手等人工的に作っています。学校は子供達が大勢集まる所です。中には池の中に物を投げ入れたり、魚等を掬って遊んでいる子供達がいて困りますが、何時かは解ってくれる時が来ると思っています。子供達に蛍が飛んでいる姿を見せてやりたいと日々頑張っています。(竹林・ビオ・花 PJT)



環境教育を時代を映す鏡と捉えて

平岡 信之

縁あって2度話題提供をさせていただきました。長岡京市の小学校も第五小、第三小、第八小に合わせて13年間在籍させていただきました。第五小で本格的に環境教育に取り組み始めました。題材はホタルの飼育活動でした。残念ながらホタルを羽化するまで飼育することはできませんでしたが、ホタルが住み続けることができる川をテーマにして小泉川をフィールドに学習に取り組みました。



その後、自然観察と自然保護、学校ビオトープ、EM菌による肥料づくりと栽培活動・フードマイレージ、地球温暖化とエコライフ、エネルギー環境教育、災害学習などに取り組んできました。今はほとんど見られなくなりましたがケナフのブームの時には栽培と紙づくりにも取り組んだ時もあります。

振り返ってみますと環境教育の情報に耳を研ぎ澄まし、時代の最先端のものを先取りしようとちょっと力んでいた部分もあったようです。最大の成果は地球環境のために多くの人々がそれぞれの立場で「工夫と努力」を続けておられることを知ったことです。震災以後環境教育の重要性も再認識されたことと思います。「人・つながり・生きる」「持続可能と再生」「シンクオブフューチャーアクトナウ」をキーワードに学び続けていきたいものです。(環境教育)



竹林作業で若さと体力づくり

藤井 仲男

若さと体力づくりは竹林作業が一番。

(足腰鍛えられる作業が最高)

(竹林 PJT)



◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

「竹林再生」諸々雑感

前田 大翔

私が始めて現在の「竹林再生部会」に関わったのは今から7年前、現在のリーダー渡辺節郎さんと公民館で顔を合わせて雑談したのが始まりでした、会話の中で、少子高齢化によって全



国的にも名だたる西山の竹林が放置され里山の環境が劣悪化していくのを何としても食止めたい、と言う渡辺さんの熱意を聞かされ理解し同調した訳ですが、当時、私は持病である坐骨神経痛に悩まされていて、週2回程度のバイトは何とか続けられたものの、通院の身ではとても積極的な活動は無理だろうと唯もんもんとした日々を送っていたが、身体を気遣う余り少々運動不足になりがちだったこともあって一念発起、渡辺さんに微力ではあるけれど一緒にやりましょうと言うことでこの会が立ち上がったわけです。そこで先ずは、協力してくれる同調者を募り、地主さんを探すことから始めた訳ですが、その後、仲間も少しずつ増え、5から6人で放置竹林である地権者の竹藪を下見したのが第一歩でした。

残念ながら、最初その地権者には我々の目的と熱意が伝わらず、逆鱗に触れて契約を断念した苦い経験があります。当然、誕生して間もない我々の意思を信用して任せて下さる地権者などあるはずも無く一時頓挫していたが、その後、市役所の紹介やあるいは、会員の知人の持山等から手掛ける事となり現在、会員20数名で7箇所目の竹林整備に励んでいるところです。さて私事になって恐縮ながら、幸いにしてこの竹林作業は私にとって腰痛のリハビリの効果が有ったのか、整体治療や針灸マッサージでは効果が無かった痛みの頻度が緩やかになり、徐々に歩行が楽になってそれ以前から歩いていた旧東海道五十三次一人旅を再開し断続的ではあったけれど、京都

三条大橋から東京日本橋まで延べ500余km、大井川を渡り、箱根八里を越え18日間で踏破、同じ頃、富士山にも登頂することが出来ました。又、数々の体験に自信を得、続いて旧中仙道一人旅を思い立ち、滋賀県草津宿から岐阜県中津川宿まで24宿約173kmを歩けた喜びは筆舌に尽くし難く大きな自信になりました。ただ残念ながら旧中仙道完歩は、途中で熊出没！注意の看板を見て中断を余儀なくされ現在に至っていますが、今年初め友人から伊勢参宮街道13日間ウォーキングのツアーに誘われて、昔の人が歩いた道、大阪玉造稻荷神社から出発して生駒山を越え、奈良県桜井市、山ノ辺の道を通り今、11月11日目に三重県松阪市に到着、後、2回、2日間で伊勢神宮に到着するところまで歩くことが出来たのは、正に竹林作業で足腰が鍛えられた成果だと喜びを感じている今日この頃です。

竹林再生から街道歩きへと横道に反れてしまいました。最後に現在の会員の多くが高齢に達し、その運営が難しくなりつつあるので、今後は若い後継者が急務だと考えているところです。(竹林・花 PJT)

◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

ボランティアで才能開花

松田 博

かくれた才能をボランティア活動で生かす。(心地よさ) まだまだ元気です、今の所病気にも縁が薄いのが幸いです。

(竹林 PJT)



◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

竹林整備でメタボ解消

丸本 茂徳

少々太り気味、竹林作業で汗を流してメタボ解消します。業で汗をいっぱい流してメタボを解消したいと思っています。竹を1本切れれば良い汗がドドット出てきます。(竹林・花 PJT)



◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♡ ♣ ◇ ♠ ♣

長岡京市環境の都づくり会議入会のきっかけ

三上 仁美

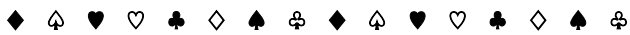
私は昨年12月より「環境の都づくり会議」に参加致

しました。その大きなきっかけは、昨年3月に起こった東日本大震災でした。地震が起こった当時、私は短期留学中で海外におり、ニュースを見て驚愕した事を覚えています。帰国後、日本の為に何か出来ないかと日々考えている時、同じ語学学校に通っていた赤井さんとボランティアをやってみようということでインターネットで検索していたところ、たまたま見つけたのが、この「環境の都づくり会議」でした。自分達に何が出来るか分からないけど、出来ることから少しずつ活動していければいいなと思っています。



私達は最初にエコチームに参加させて頂くことになったので、小学生やその親御さんらと楽しみながらエコについて学んでいけたらと思っています。

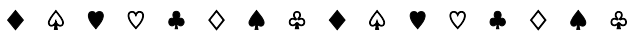
(エコチーム)



竹林整備で流す汗

村上三郎

ボランティア活動の竹林整備で流す汗は、作業終了時の心地は格別です。時間の都合がつけば西山体育館2階の除草作業を手伝っています。(竹林・ビオPJT)



居心地のよい活動

山本雅夫

平成22年末に入会、「環境の都ニュース」の編集を担当し、エコチームの活動に参加しています。机上技術系サラリーマンで定年まで過ごし、無趣味の為に出来る事はパソコンを使った文書などの編集と電気関係の話への参画です。「環境」の中の「省エネ」の中の「節電」は比較的判る分野でエコチームが行う「省エネ相談」ではお役に立てていると自負しています。「生物・多様性」



の話は苦手と良く判りません。エコチームは多様な個性と得意分野の人たちが集まり、自分の得意な事・出来る事で活動に参加しています。また、活動は学童対象の「すくすく教室」での科学遊びや各種イベントでのエコに関連する活動紹介、最近「省エネ相談」を行い、別のところでは「ソーラー街灯」を受注・制作。以前は太陽光発電導入推進など幅広く多様な活動は誰でも何かに参加できるチームで、私も居心地よく活動を継続しています。

(エコチーム)



環境教育ミーティングは夜間大学

山本美津子

私が初めて参加したのは環境教育ミーティングの4回目でした。環境問題について少し興味があり、いろんな分野から勉強させて頂くようになりました。私には難しくて睡魔が襲うこともあります。自分で出来ることをすればよいし、持続することが大切なんだと学びました。



以前から取り組んでいる「書き損じハガキ回収」「ウエス収集」「公園サポーター」などに加え、「使用済天ぷら油回収」「ペットボトルのキャップ回収」「空き缶のプルトップ回収」などは谷田の自治会で取り組み、推進してきました。廃油はなんと年間350ℓを回収し、地域にも定着しました。平成20年には京都府の「エコ京都21」に登録されました。

ミーティングに参加し、「我が家のエコ対策」「身近な省エネ」「ゴミを出さない工夫」など大変勉強になりました。これからはまじめに夜間大学で授業を受ける心構えで参加したいと思っています。

「環境の都」の主役である「環境の都づくり会議」の益々の発展をお祈りします。(環境教育)



モラロジーに生かされて

湯川圭造

「竹林再生」「地球温暖化防止」等、長岡京市環境の都づくり会議は、退職後の私のライフワークになっています。1年間を通して環境の都づくり会議に関するスケジュールと30歳の頃から「生涯学習」とし

五月竹林
出坤解甲長龍孫
風送清聲嫩葉翻
此地每年豊麗處
竹胎採掘是誰恩



で続けている「モラロジー」の学習、自治会の行事等更に 10 年前からやっている家庭菜園での無農薬野菜の栽培、これは友人作りに役立ちます、又近年生涯学習の幅も広がり、詩吟、漢詩作りも始めました、私はこれらの活動の考え、行動の基礎に「モラロジー」で学んだ質の高い

読み下し文

こんをいでてこうをときリユウそんちようす。
風はせいせいを送りわかばひるがえる。
この地 毎年 ほうれいのところ。
ちくたいのさいくつこれだれのおんぞ。

龍孫・大地
坤……大地
竹の子

道徳心の実行を心掛けています、人間関係も地球環境も、団体活動も質の高い道徳心があれば、壊すこと無く永続することが可能だと思います、ここに今春作りました詩を一作披露いたします。

1 (竹林・ビオ・花 PJT)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ♠ ♣

10 年を振り返って

私は、「長岡京市環境の都づくり会議」発足から関わっている一人です、「環境」という大きなものに対して知識も無い私でしたが、色々知っていく中で、今、現在の自然の維持の大切さやライフスタイルの在り方を多くの人に知って、考えて欲しいと思いました。



長岡京市環境基本計画を基に、実行して、持続可能な街づくりの為には、まず、啓発をしなければとの思いがありました。

「イズミヤでのパネル展示」では、人々の環境への関心の少なさを知りました。

「市民向けの市民環境フォーラム開催」では寸劇や大判紙芝居は私の中で、とても楽しく思いで深く残っています。

湯川智子

「わが町を歩いて、地元の自然や川の調査」は改めて長岡京市の自然や竹林の状態等、再確認出来ました「子供環境フェスティバル」では市内の小学校へ夏休みの作品展に行き、見て廻って思ったことは、子供の感性、ユニークさ、熱意に脅かされました。又、色々な所に出向き、多くの人々と出会い、交流もありました、各プロジェクトは地道ですが、前向きな活動をしてきました。ここまでやってこられたのは多様な才能を持っているメンバーの皆様がアイデアを出し、時には内容について話し合い、仕事で忙しい中でも時間を遣り繰りして、頑張ってくれていた努力の賜物だと思っています。本当に感謝しております、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。(花を咲かそう PJT)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ♠ ♣

西山にかける想い

渡辺節郎

私は在職当時から山が好きで北アルプス等に良く登っていましたが、定年後は近くの山と云うことでポンポン山を中心に西山界隈の里山を歩き回っていました。その西山で目にしたのが竹藪の無惨な姿でした。昼間から薄暗く、風が吹けばバシーバシーと音を立てて割れる古竹、林道に倒れる樹木や竹で歩けない道、実に気味悪く足早に通らぬけたものである。多くのハイカーが行く魅力的な山とは整備された道で緑溢れる美しい景観である。こんな荒れた里山林の西山にはハイカーは来ないと嘆いたものである。それ以後、西山の景観をなんとかしなければの強い思いが私を奮い立たせた。まもなく縁合って環境の都づくりに入会した。最初はビオトープに所属し小泉川のビオトープづくりに参加していたが、竹炭用の竹の確保を契機にして、放置竹林の整備にのめりこんで行った。最初は光明寺裏山の放置竹林であった。メンバー全員が若かったこともあって皆楽しく、和気あいあい古竹の間伐に汗を流した。私の夢であった境界の林道には、100mに及ぶ竹の笹で垣根を造った、早速ハイカーから「美しいわ、ご苦労さん」と声を掛けられ、この一言でボランティアとしてのやり甲斐や生き甲斐、喜びを味わうことが出来まし



た。あれから早8年が過ぎました。今では8ヶ所目の竹林整備に取り掛かるほど頑張ってきました。しかしここに来て大きな壁に当たってきました。それは活動日の参加者が徐々に減少していることです。その原因には避けて通れない高齢化の問題と環境意識の変化、そして大き過ぎる目標への挫折感かもしれません。竹林整備には体力と精神力がいる、その上、危険度も高い。よほど根っこが強くなければ続けられない作業です。理想は皆が楽しみながら出来るボランティアです。その環境づくりをするリーダーの私の役割かもしれませんが私も専門化でないので良い解決策は見つかりません。行政や各種団体も対策を模索していますがこのペースでは西山全体に手が入った里山林への道のりは計り知れぬ程、遠いかもかもしれません。しかし、どんな課題が山積しようと私はリーダーとして前へ前へと進まなければなりません。その行動こそが私が西山に掛ける想いを実現さす為の使命だと考えています。

(竹林・ビオ・花PJT)

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

事務局からのメッセージ

西山が新たなムーブメントに！

中村 修

日本は、そして世界は文明の大きな転換点にたっています。地球温暖化、生物多様性をはじめとした地球規模の環境問題、リーマンショックに端的に表れた世界的な経済システムの行き詰まり、国内外の格差の拡大など、持続可能な社会のトリプルボトムラインである環境・経済・社会の三要素とも大きな危機に直面しています。



さらに、福島第一原子力発電所の重大な事故は、エネルギー問題だけでなく私たちの文明の「豊かさ」に対する根源的な疑問を、日本のみならず全世界的に投げかけました。

このような危機を脱し持続可能で豊かな社会を築

くためには、小手先の改革ではなく、パラダイムシステムをとまなう根源的な社会転換が必要です。社会の変革は地域からのムーブメントが必須であり、行政にはそのための率先的な役割が期待されています。

長岡京市は小さな自治体ではありますが、西山という環境のシンボルを後世の子供たちに繋がないままにはなりません。そのためにも、産官学民が協力して新しいムーブメントを起こしていきたいと思えます。

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

未来を創る技術

木本直樹

一般廃棄物の処理業務から数えると、環境行政に携わり12年が経った。その間、環境問題の論点は廃棄物の分別・リサイクルから発生抑制へ、よりグローバルな視点での地球温暖化対策へと時代の趨勢を反映しながら変遷してきた。



そして、2011年3月11日の東日本大震災以降の環境問題は、エネルギー政策が議論の中心となっている。我国は、諸外国と比較して低いと言われる食糧自給率でさえ40%であるのに対し、エネルギー自給率はわずか4%である。

本市でも、住宅用太陽光設置補助制度など再生可能エネルギーの導入を促進させるための施策を実施しているが、再生可能エネルギーはまだまだ出力が不安定で、火力発電によるバックアップが必要となることから、これにより自給率が大幅に向上するとは考えにくい。

環境の都づくり会議では、環境教育やイベントなどで環境問題や再生可能エネルギーの必要性を子どもたちにも分かり易く伝えてきた。将来、世界のエネルギー問題を解決するような素晴らしい技術が、この子どもたちの中から生まれることを期待している。

◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣ ◆ ♠ ♥ ♠ ♣ ◆ ♠ ♣

継続的な取り組みが着実に市民へ

北川あかり

10周年おめでとうございます。

今から約1200年前に都が置かれたことで有名な



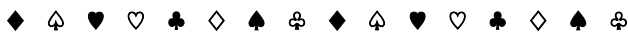
このまちですが、近年は「環境の都」というのが定着してきました。「このまちは環境に力を入れてるんやね」「環境の都に住んでいるのだから、私も何かしなくてはという気持ちになるわ」等々、市民の方から声をかけられることもしばしばあ

ります。これも、環境の都づくり会議の皆さまをはじめ環境ボランティアの皆さまの継続的な取り組みが、まち全体に浸透してきた証拠だと思います。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以降、日本全体の意識が大きく変わりました。新エネルギーの導入や低炭素社会の構築のために、今まで以上に環境の取り組みが求められる時代になってきます。

『未来を生きる子どもたちに、限りある自然環境を残す』

この、今を生きている私たちの使命を改めて肝に銘じて、私自身も様々な活動に携わっていきたくと思います。



Think Globally, Act Locally.

長沼美菜

環境の都づくり会議設立 10 周年おめでとうございます。私が都づくりの方々と関わって、丸 2 年が経とうとしています。都づくりの活動は多種多様で、1つの団体でここまで幅広く活動している団体は他にはあまりないのではないかと思います。



題にあげた「Think Globally, Act Locally.」ですが、「地球規模で考え、足元から行動せよ」という意味です。環境問題は、特定の地域だけの問題ではありません。地球は一つであり、ある地域で起きた環境破壊は、世界に広く影響していきます。18 世紀後半にイギリスで起こった産業革命を機に、大量生産・大量消費時代がはじまり、人々はあらゆるものを大量に消費するようになりました。一方で、この大量生産・大量消費は地球にとって、またあらゆる生物にとって害を及ぼすものだという考えも広まり、環境保全活動に立ち上がった人もいます。その中の一

人が、環境の都づくり会議の方々であると、私は思っています。世界単位で考えると非常に果てしないことのように思いますが、まずは身近なことからコツコツと始めることに意義があるのではないのでしょうか。



あとがき

お一人お一人のお顔を見ながら編集していますと、時の経つのを忘れてしまいました。地域の環境に、地球の未来に、未来を生きる人々に、皆様の熱き思いがひしひしと感じられました。これからも一層、長岡京を環境の都にするべく協働して参りたいと思います。

2012 年 (平成 24 年) 3 月 20 日

編集担当者 西村日出男